



## こだわり

### きたの だいち

持ち物にこだわる方でないが、ゴルフ用具には思い入れがあつてブランド物を愛好している。かれこれ二〇年にもなるが、それはゴルフクラブから始まり、キャデーバッグやボールそして靴にまで至っているのだ。

◆  
きつかけは些細なことだった。搬送用コンベヤのベルト選定に携わつたところに遡るが、この時に自動車タイヤのメーカー、横浜ゴムの技術を高く評価したことがあつた。しばらく経つてから、この会社がプロギアという商品名の用具を開発したと聞き及び、先の評価が引き金となつてなれば盲目的に飛びついてしまった。

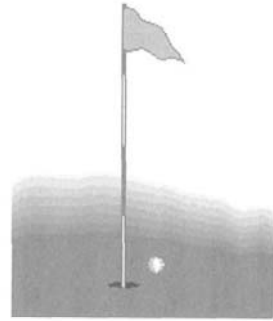
◆  
ゴルフはプレーが終わると、「どうだった？」と互いに成績を披露しあふ。結果が意のままでもそれ相応のコメントがあるものだが、意に沿わないとなると人

はことに饒舌になる。それは言い訳に違はなく受け流されることが多いのだが、話し掛ける側は概して積極的である。俎上に載るのは天気が筆頭だろう。前夜の痛飲も立派なネタになる。ゴルフクラブもよく責任を負わされやすく、私からは、寄せ集めの不揃いなクラブに目をつけられたり、ドライバーのシャフトが柔らかいだの、パターがしっくりしないなどと、クラブが反論しないことを好いことといわれない疑いをかけられていた。その逃げ場を嫌つたのだ。それがプロギアである。

◆  
数年前に業界のコンペに参加した。同伴者に取り先の社長も入つていた。お会いするのは初めてだが、シングルハンディという凄腕だ。あるホールで彼は右方向へ打ち出してしまい、ボールは坂を転げ落ちた。深いラフの中を探し当てしつかりとリカバリーショットをした。



## 徒然 つれづれ



満足げな表情をみせながらコースに戻る途中で、ふと他のボールが目に入った。いったんは拾い上げたが、ボイと放り投げて坂を登ってきた。

「安物だ」

とのつぶやきを、すれ違いざまにたしかに耳にした。

◆ 私のボールも同じ方向へそれていた。方々探しまわりながら、念の為にそれを覗き込んだ。何と、プロギアじゃないか！ 思わず坂の上を見やった、彼は腕

組みしながらこちらを眺めていた。無礼な奴だ！ と独り言を口にしながらも気を静めてアドレスに入った。だが、もし謝られたら何と返事しよう？ 照れ隠しをしようか、白を切ろうか。打ち終わってからは遅い。もつれた糸を解きほぐせないままに振り抜いた。ザックリとやってしまった。左肩を痛めるほどだった。ゴルフはメンタルなスポーツだ。

◆ 親父の教えも思い出していた。

「考え事をしながら仕事をするな！ 怪我をする」

と。経験を積んだ人はいいいことを言う。

◆ プレー中には「つぶやきしろっ」からの反応はなかった。その後もそぶりすら見せないが、幾度か訪ねて来たのでたわいない話を振舞っている。もちろん、彼に対しては何のこだわりもない。